投資者の皆さまへ（販売補助資料）

au アセットマネジメント

auAM Quantitative-Controlレバレッジ NASDAQ100

追加型投信／海外／株式／
特殊型（その他）

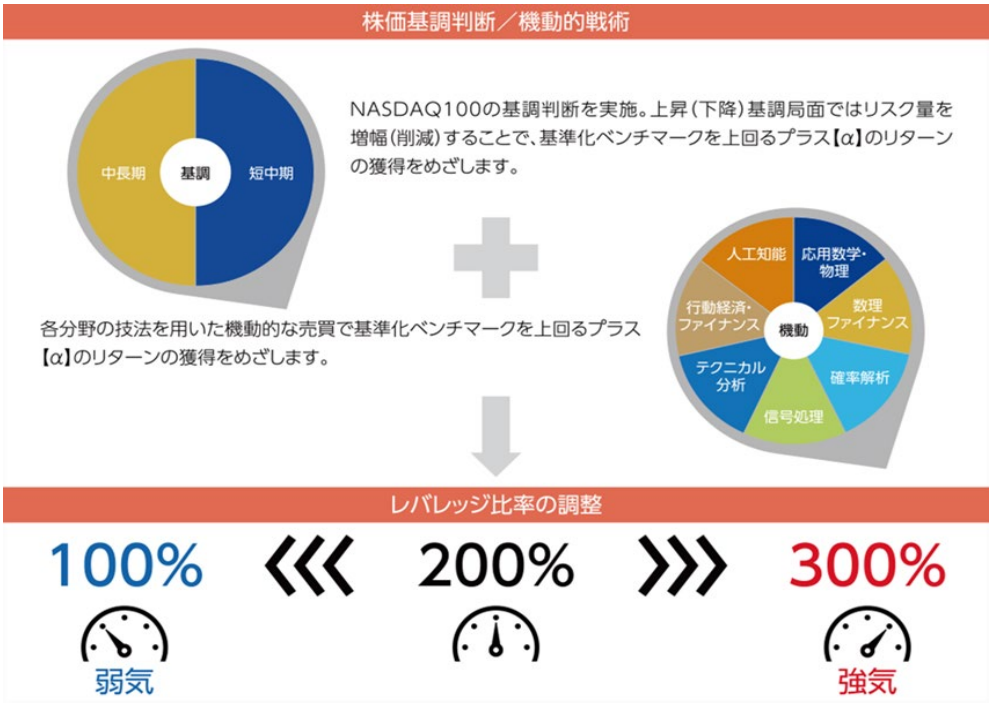
（愛称：Qレバナス）

「第六期パフォーマンスについて」　作成日：2025 年 10 月 10 日

- 当資料の内容は過去データを基にした結果を示すものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。
- お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

改めてQレバナスの運用の仕組みについて解説します

運用戦略（レバレッジコントロール）について



※実際のレバレッジ比率は、買建玉の時価総額の変動等により変動します。目標レバレッジ比率には一定の変動許容幅を設けます。

Q レバナスでは、NASDAQ100 先物買建 200%のベース部分にクオンツよるアクティブ運用を加えて先物の組入ウェイトをコントロールしています。

この“アクティブ運用部分”では NASDAQ100 先物の組入ウェイトを-100%～100%でコントロールします。これはそれぞれアプローチの異なる【株価基調判断】と【機動的戦術】により決定されます。

このアクティブ運用部分（-100%～100%）と先物買建 200%のベース部分とあわせてレバレッジ比率 100%～300%で調整します。

基準価額の推移について（前期決算日比 1,744 円のプラス）

図表 1 の網掛け部分は、当ファンド第六期決算期間（2025/5/23～2025/8/22）の基準価額の推移を示したものです。決算日（2025/8/22）基準価額は、11,394 円、前回決算日比＋1,744 円（第五期決算日 2025/5/22 基準価額 9,650 円）となりました。

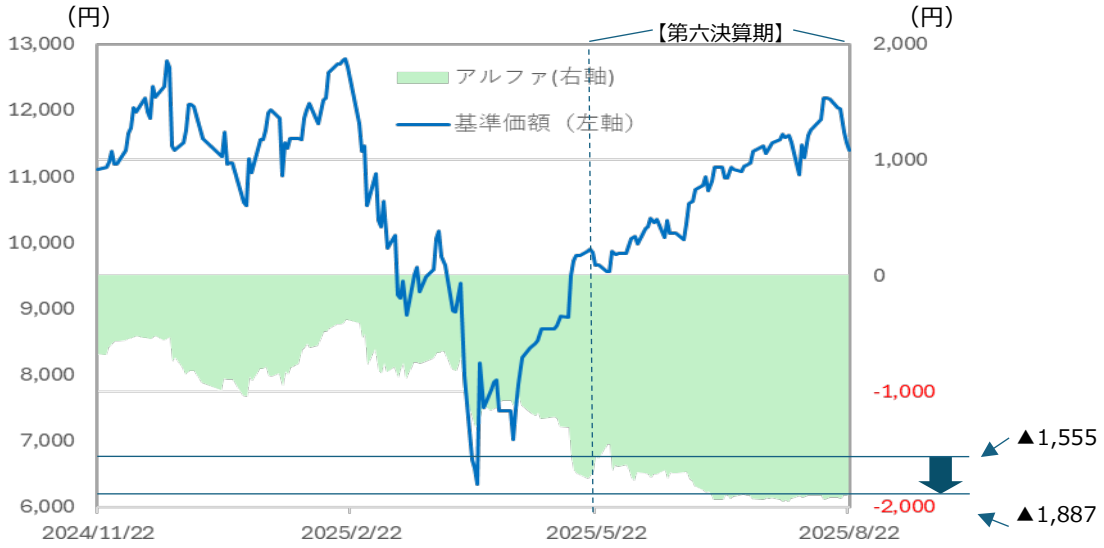
【図表 1　基準価額推移（設定来（2024 年 3 月 22 日）～2025 年 8 月 22 日）】

「アルファ」の推移について（第六期アルファ増減は▲332 円）

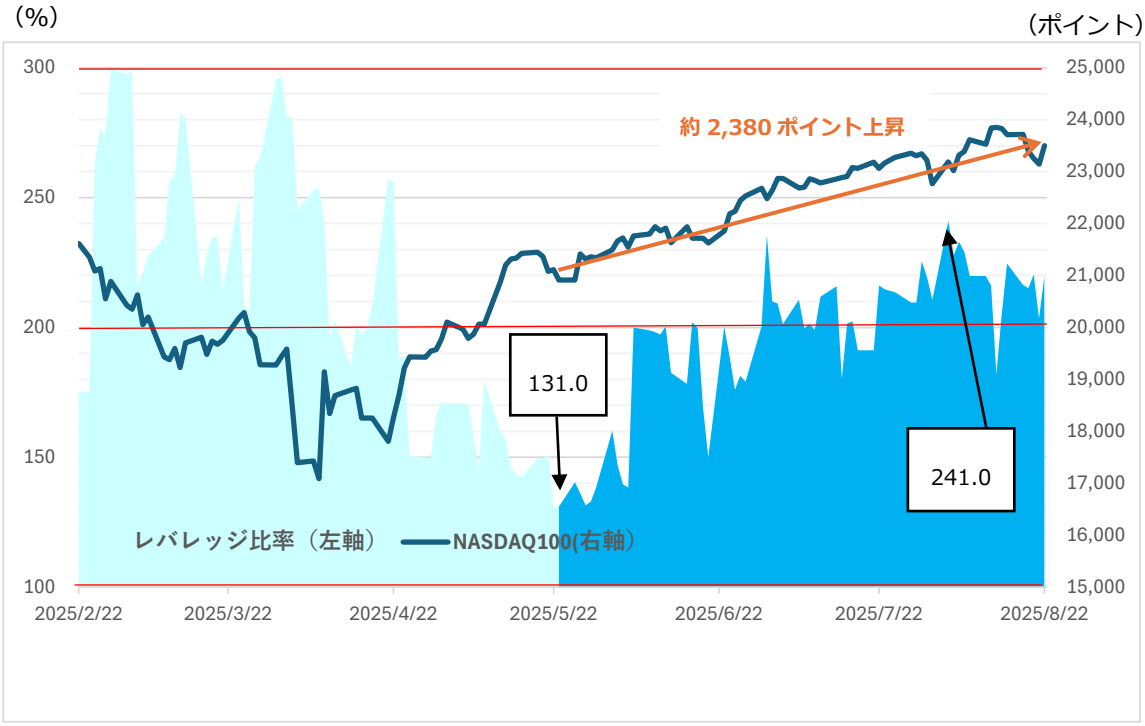
基準化ベンチマーク NASDAQ100 指数の 2 倍（円ヘッジベース）との比較

図表２は、当ファンドの第六期決算日（2025/8/22）までの基準価額と基準化ベンチマーク（NASDAQ100 指数の２倍（円ヘッジベース））との差「アルファ」（以降アルファと記載）の推移を示したものです。アルファは、前回決算時の▲1,555 から▲1,887 円となり、成功報酬は発生しませんでした。この間のレバレッジ比率の動きを図表３にお示ししております。

【図表２　第六期　基準価額と基準化ベンチマークとの差（アルファ）の推移】



【図表３　レバレッジ比率の推移】



第六期のレバレッジ比率とマーケットイベントの振り返り

今期の NASDAQ100 指数は約 2,380 ポイント（11%）上昇するなど、過去最高値を更新しました。
レバレッジ比率につきましては概ね 130%～240%を中心としたレンジで推移させました。
今後も市場環境の変化に応じてモデルに基づいた機動的なレバレッジ調整を行い、投資家の皆さまの資産形成に貢献してまいります。

主なマーケットイベントとレバレッジ比率について説明します。

【マーケットイベント】

① **6 月 18 日：FRB が政策金利の据え置きを決定**
FRB が政策金利のレンジを 4.25%～4.50%に維持。インフレ、景気の見通しに対する不確実性が残る中、パウエル議長が過度な引き締めへの警戒をにじませたこと等を株式市場は好感。
【レバレッジ比率】5 月後半に 130%程度に引き下げていたレバレッジ比率を徐々に拡大。中立的な 200%程度でコントロール。

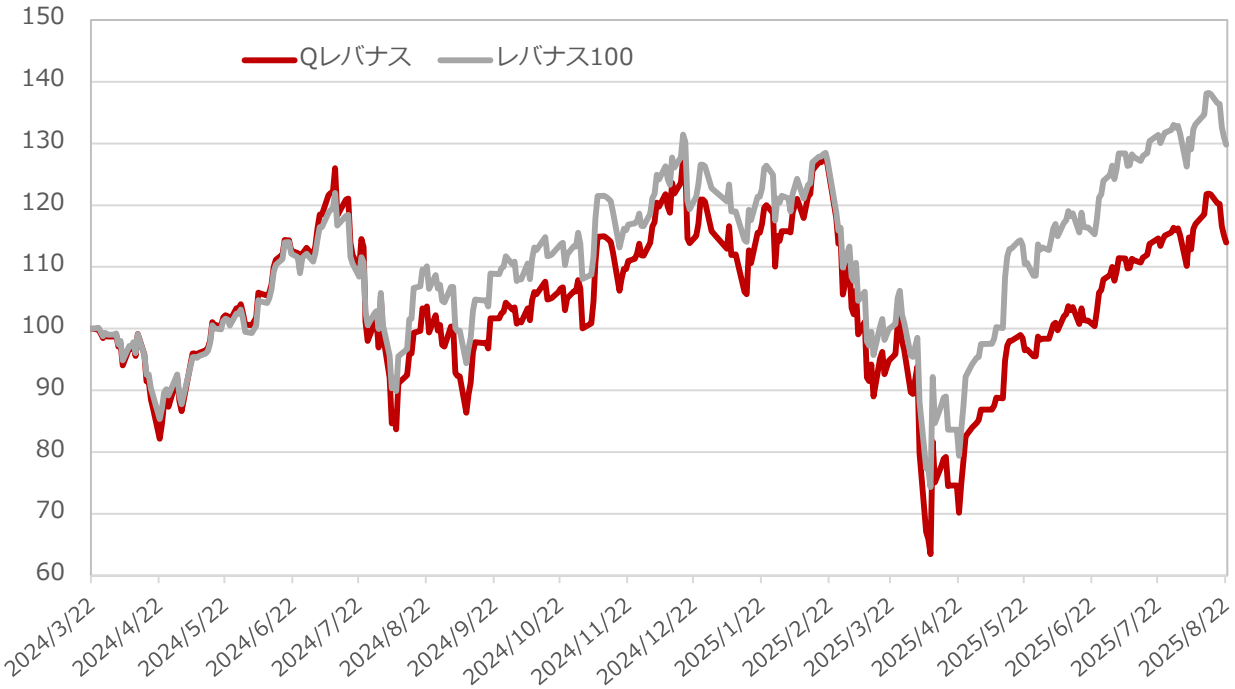
② **8 月 1 日：雇用統計下方修正**
7 月の雇用統計の悪化と過去月の大幅下方修正を受け投資家心理が一旦悪化するも、徐々に FRB が利下げに踏み切る可能性を市場は織り込み始め、翌 4 日には 9 月の利下げ確率が 85%に上昇。
NASDAQ100 指数はさらに最高値を目指す動きに。

③ **8 月 22 日：ジャクソンホール⇒利下げを意識**
5 月、6 月の雇用統計が大幅に下方修正される中、ジャクソンホールでのパウエル議長のハト派的発言から市場は利下げの可能性を意識、債券利回りは低下。
【レバレッジ比率】8 月 4 日に 240.98%に引き上げた後、株価が上昇する中で、徐々にレバレッジ比率を引き下げ 8 月 13 日に 181.87%。8 月 22 日の決算日は 219.52%。

当ファンド設定来の当社レバナスとの比較

当ファンドでは、種々の投資戦略を活用しながら、NASDAQ100 株価指数（米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることを目指したファンド（下図 4 の当社レバナス 100 ）より高いパフォーマンスをお客様にお返しできるよう、日々努めて参ります。（基準化ベンチマークとの比較とは異なりますが、投資家の皆様が普段見ていらっしゃいます当ファンド（図表 4 の Q レバナス）と当社 auAM レバレッジ NASDAQ100（図表 4 のレバナス 100）との比較グラフを下記にお示しします。成功報酬計算とは異なるものである点ご注意ください。）

【図表 4　Q レバナス設定来の当社レバナス 100 との比較グラフ】
※2024/3/22 時点を 100 として指数化



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、au アセットマネジメント株式会社がファンドに関連する情報等をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。ファンドの取得の申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。
- Q レバナスの詳細情報（リスク・費用等を含む）につきましては、こちらのファンド詳細ページをご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基 金の対象とはなりません。
- 当資料の記載内容は過去のデータによるシミュレーションであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の実質的な投資成果を 示すものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、基準日時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ 一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料の写真やイラストはイメージとして掲載するものです。
- ファンド名称の auAM は au アセットマネジメントの略称です。